

グループ名 ・代表者名	Annaka ひだまりマルシェ 神戸 るみさん	助成金額	60万円
連絡先など	027-384-3131 annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp		
助成のテーマ	群馬県における汚染状況重点調査地域を中心とした放射性物質の健康への影響に関する調査研究		

## 【調査研究の概要】

群馬県内の汚染状況重点調査地域における「子どもたちの甲状腺エコー検査」並びに「土壌測定」を実施することを通して、福島第一原発事故以降、子どもたちの置かれている状況を客観的、科学的に調査研究し、社会の在り方に問題提起をしました。群馬県では、片品村、みなかみ町及び安中市が指定を解除されたため、現在では、桐生市、沼田市、渋川市、みどり市、下仁田町、中之条町、高山村、東吾妻町、川場村の9市町村が『汚染状況重点調査地域』の指定を受けています。

チェルノブイリ原発事故後の健康被害として小児甲状腺がんが報告されており、福島県においては、平成23年10月以降、県民健康調査が実施されています。群馬県では、特に汚染状況重点調査地域に居住する子どもたちを中心に標記事業の実施を通して、万が一の被害を最小限にするための体制づくりを私たち市民が主導しました。2017年度甲状腺エコー検査事業では226名の群馬県の子どもたちの甲状腺検査を行い、土壌測定事業では51検体の土壌の放射線量を測定しました。これらのデータを集計して報告書を作成し、さらに2018年3月31日には高崎市において事業報告会を開催し、市民の皆さんに情報を広く共有する場を設けました。

## 【調査研究の経過】

- ・土壌測定：通年実施（51検体）（宅地土壌（40件）、畑土壌（7件）、その他（枯葉・草・おがくずなど3件））
- ・甲状腺エコー検査：年間7回実施、合計226人  
…うちA1判定92名（42.4%）／A2判定120名（55.3%）／B判定5人（2.3%）
- ・2017年度報告会開催：2018年3月31日（土）高崎市総合福祉センター第4会議室（参加者約40名）

## 【今後の展望など】

- ・2018年度も引き続き、上記事業を実施し、子どもたちの健康に注視していきます。
- ・土壌測定：2018年度も継続して測定を実施し、学校校庭や保育園・幼稚園園庭、公園など、子どもたちの生活環境に身近な場所の土壌測定も実施していくことで、今後も暮らしを客観的、科学的に評価していきます。
- ・甲状腺検査：年間約250名実施予定  
① 6月3日（日）高崎市市民活動センターソシアス（高崎市）：実施済み、② 7月21日（土）パルシステム群馬東毛センター（太田市）、③ 9月15日（土）おひさま飯塚保育園（高崎市）、④ 12月1日（土）パルシステム群馬東毛センター（太田市）

会計報告書の概要（金額単位：千円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
報告会関連費	報告者謝金・会場費・交通費・昼食代・チラシ印刷・デザイン料	110	30	80	0
郵送代		78	21	57	0
備品代	ATOMTEX AT1320A・USBなど	200	0	200	0
会議費	検査時会議費@6,000円×8回	36	0	0	36
印刷代	甲状腺検査及び土壌測定チラシの印刷	202	70	132	0
謝金	研修講師謝金	50	50	0	0
保険代	検査時及び報告会時保険代	14	3	11	0
会場代	検査会場貸借料	13	10	3	0
人件費		520	307	110	103
研修費		6	6	0	0
交通費	研修に関する交通費及び講師交通費、ガソリン代	15	10	5	0
事務用品		160	0	160	0
外部委託費	甲状腺検査受検者管理用ソフト salesforce 導入サポート料	180	93	42	45
合 計		1,584	600	800	184

## 参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など）

- ・Annaka ひだまりマルシェ <https://lunarumi0923.wixsite.com/annaka-hidamari>

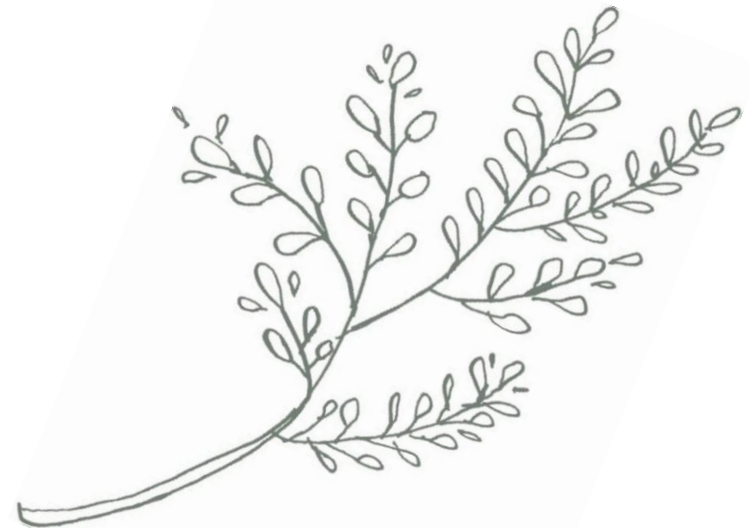
高木仁三郎市民科学基金2017年度成果発表会

# 群馬県における 汚染状況重点調査地域を中心とした放射 性物質の健康への影響に関する調査研究

2018.7.1

NPO法人Annakaひだまりマルシェ

代表理事 神戸るみ



# 1. 事業を実施するに当たっての 基本的視座

- ① 子どもたちの健康に注視していく
- ② 社会問題を顕在化させる
- ③ 当事者に社会参加を促す



# ①子どもたちの健康に注視していく ～あの時何が?～

- 2011年3月下旬に川俣町、いわき市、飯舘村の15才以下の子どもたち1,080人にNaiシンチレーションサーベイメータで前頸部を3回測定。その平均値を評価
- 弘前大学被ばく医療総合研究所による調査。浪江町の住民62名を対象。
- 長崎大学先導生命科学研究支援センターによる調査。長崎大学にて173名をホールボディカウンターにて測定。



初期被ばくの正当な評価が  
できていない

# ①子どもたちの健康に注視していく ～放射線の健康への影響～

線量測定と計算 実効線量への換算係数

預託実効線量係数 (μSv/Bq) (経口摂取の場合)

	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	ストロンチウム 90	プルトニウム 239
3か月児	0.48	0.028	0.011	0.13	5.2
1歳児	0.18	0.018	0.012	0.073	0.42
6歳児	0.10	0.013	0.0088	0.047	0.33
10歳児	0.062	0.014	0.01	0.08	0.27
16歳児	0.034	0.018	0.013	0.08	0.24
成人	0.022	0.018	0.013	0.028	0.26

μSv/Bq: マイクロシーベルト/ベクレル

出典: 国際放射線防護委員会 (ICRP), ICRP Publication 119, Compendium of Dose Coefficients based on ICRP Publication 60, 2012

ECRR:  
0.55

ECRR:  
0.22

ECRR:  
0.11

社会的立場によって異なる換算係数

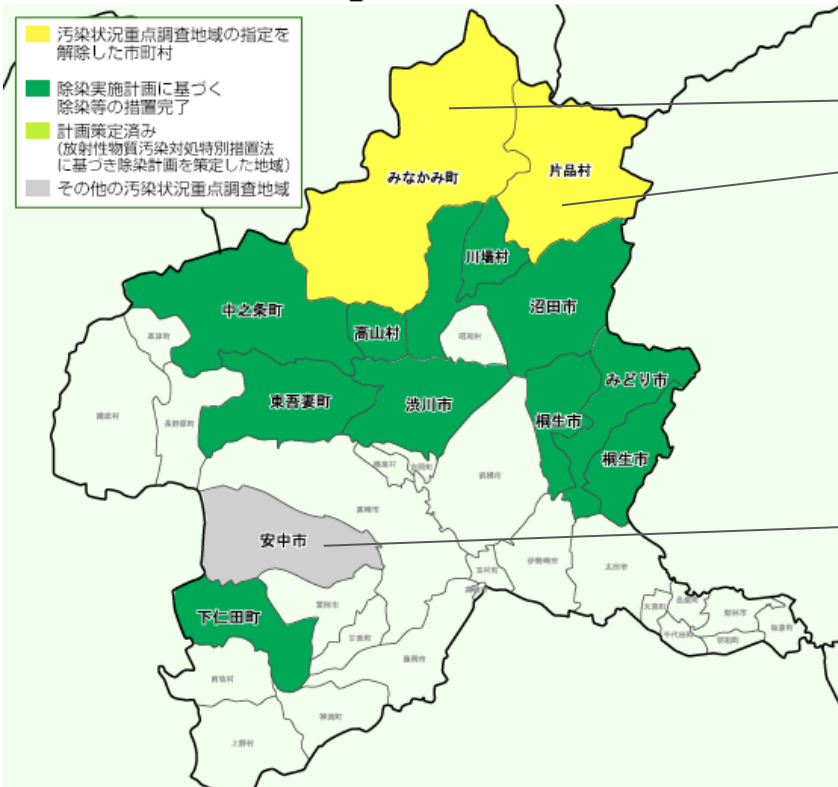


健康への影響も推定値

## ②身の回りにおける社会問題を顕在化させる ～群馬県の場合～

群馬県

進捗の詳細をご覧になりたい市町村をクリックしてください



みなかみ市・片品村：  
2012年12月  
指定解除

安中市：  
2017年3月22日  
指定解除

出典：環境省 汚染情報サイトより神戸転記

## ②身の回りにおける社会問題を顕在化させる ～群馬県 放射線の健康への影響に関する有識者会議～

### 第1回：2011年11月21日（月）

- 子どもについては、放射線の感受性が高いということもあるが、少なくとも今、がんが直ぐに発生する訳ではないし、甲状腺機能低下症については、線量が全然違うので、発がんの観点からすれば、小児であってもこの程度であれば影響はない。

### 第2回：2012年6月25日（月）

- 甲状腺の検査というのは、良性なしこりの患者さんの場合ずっとフォローをして精神的、物理的な負担をかけるということになる。群馬県に関して言えば、線量的には健康面、発がんのリスクからみても、ほとんど自然の放射線量と同じであるから、これで過剰な反応を示して健康な方に迷惑をかけるということは考えなければならない。

### ③当事者に社会参加を促す

動機	身体症状の変化	2
	近親者の健康状態の変化	1
	放射線の影響に対する不安	13
	医療機関では受けられない	5
実施者へ	実施に対する感謝	14
	継続的な実施を希望	5
	全体の結果を知りたい	2
その他	医療被ばくに対する不安	1
	生活や社会に目を向けるきっかけとなった	4
<b>後悔</b>	<b>生活への配慮が不十分だったのでは...</b>	<b>10</b>

2016年度甲状腺検査報告より抜粋



# ③当事者に社会参加を促す ～事実を共有する～

2016年度  
甲状腺エコー検査報告会  
3.11後を生きる  
子どもたちへ

2017年  
3月25日(土)

会場 高崎市総合福祉センター  
(高崎市末広町115-1)

第1部 13:30～  
2016年度  
甲状腺エコー検査実施報告

第2部 15:30～16:30  
「3.11後を生きる子どもたちへ」

主催：NPO法人 Annaka ひだまりマルシェ  
〒379-0222 群馬県安中市松井町松井564  
協賛 生活協同組合バルシステム群馬・よつ葉生活協同組合

2017年度  
甲状腺エコー検査報告会

2018年 参加費無料  
3月31日(土)  
13:30～16:00

会場 高崎市総合福祉センター  
会議室4(3F)  
群馬県高崎市末広町115-1

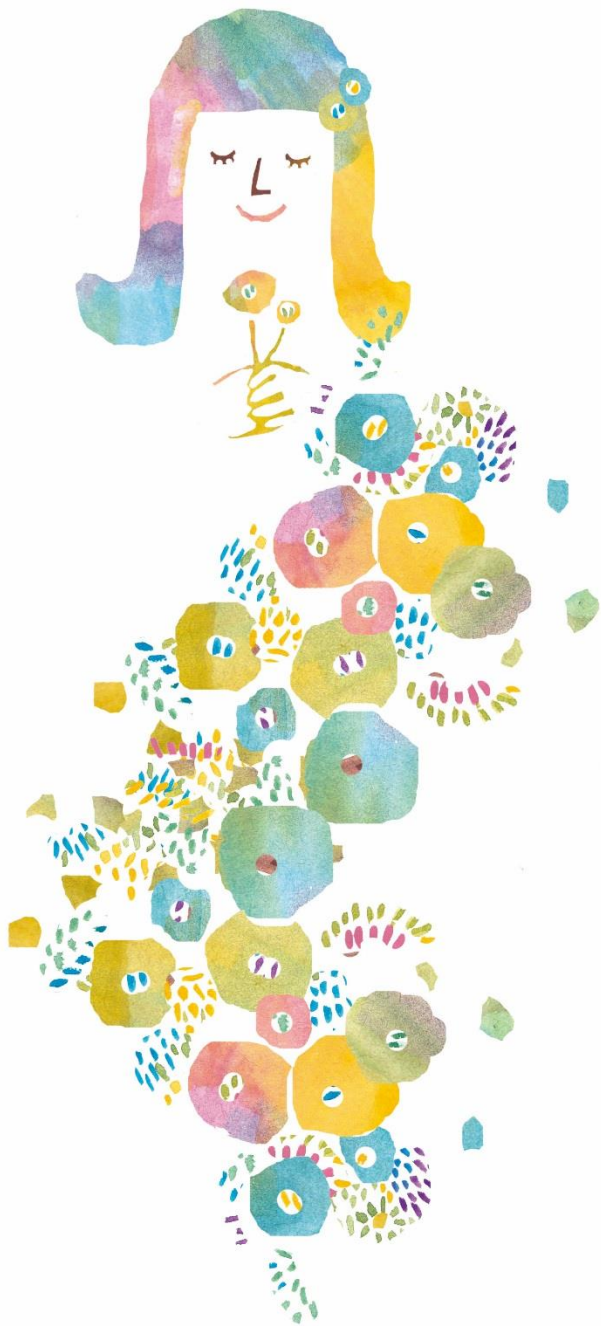
プログラム

第1部  
2017年度  
甲状腺エコー検査実施報告

第2部  
「福島の7年、私たちの7年。」

主催  
NPO法人 Annaka ひだまりマルシェ  
〒379-0222 群馬県安中市松井町松井564  
助成元  
バルシステム生活協同組合連合会・高木仁三郎市民科学基金  
協賛団体  
バルシステム群馬

福島  
の  
七  
年  
、  
私  
た  
ち  
の  
七  
年  
。



## 2. 2018年度甲状腺検査 及び 土壌測定について

# 2017年度甲状腺エコー検査実施体制

- 機器：TOSHIBA Viamo Limited
- 検査対象：1922年4月1日以降生まれの方
- 検査結果：福島判定（A1,A2,B,C）
- B,C判定の方には県内のクリニックを紹介



# 2017年度甲状腺工コ一検査 受検者数

回	期日	場所	人数	内訳											
				未就学		小学生		中学生		高校生		成人		合計	
				男児	女児	男児	女児	男子	女子	男子	女子	男性	女性	男性	女性
1	2017. 5.14	高崎市	61	13	9	11	20	2	2	1	1	0	2	27	34
2	2017. 6.18	高崎市	29	0	9	8	12	0	0	0	0	0	0	8	21
3	2017. 7. 8	高崎市	40	20	4	6	10	0	0	0	0	0	0	26	14
4	2017. 9. 2	安中市	20	1	4	2	6	0	0	0	0	0	7	3	17
5	2017.10. 1	高崎市	16	3	2	1	5	3	0	0	1	1	0	8	8
6	2017.11.12	高崎市	28	6	2	8	10	1	0	0	0	0	1	15	13
7	2017.12. 9	高崎市	32	5	3	9	11	1	0	0	2	0	1	15	17
年度合計			<b>226</b>	48	33	45	74	7	2	1	4	1	11	102	124
前年度合計			369	84	94	83	82	11	6	3	0	2	4	183	186
今年度/前年度(%)			61.2%	45.5%		72.1%		52.9%		166.7%		200.0%		61.2%	

# 甲状腺工コ一検査累積受検者数

開催年度	人数
2015年度 (年間5回実施)	107人
2016年度 (年間9回実施)	369人
2017年度 (年間7回開催)	226人

検査実績累計  
**702人**

# 2017年度甲状腺エコー検査 福島判定の内訳

	A									B		
	A1			A2								
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
0-2歳	11	8	19	2	2	4	13	10	23	2	0	2
3-5歳	14	13	27	15	8	23	29	21	50	0	0	0
6-10歳	14	21	35	29	42	71	43	63	106	0	0	0
11-15歳	5	2	7	6	10	16	11	12	23	0	0	0
16-18歳	0	2	2	1	2	3	1	4	5	0	0	0
19歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	2	2	1	2	3	1	4	5	0	3	3
合計	44	48	<b>92</b>	54	66	<b>120</b>	98	114	<b>212</b>	2	3	<b>5</b>

# 継続受検者 福島判定結果の推移

39名		本年度		のう胞の最大径 (mm)
		A1	A2	
前回	A1	10	4	1.5, 1.5, 1.6, 2.2
	A2	<b>1</b>	24	3.7

# 2017年度甲状腺エコー検査における課題

- 高崎市と安中市（群馬県西部）のみの開催となったこと

⇒2018年度は**群馬県東部**での開催を予定

⇒2019年度以降は**群馬県北部**での開催も検討

- 当事者へのアプローチに時間を割けなかったこと

2018年度は検査報告書をお渡しする際等に、受検者とコミュニケーションをとる時間を意識的に設け、量的調査に加えて**質的調査**の要素も取り入れる。



# 2018年度甲状腺エコー検査開催予定

	場所	日にち	定員
1	高崎市市民活動センター ソシアス(高崎市)	6月3日	80名
2	パルシステム群馬 東毛センター(太田市)	7月21日	80名
3	おひさま飯塚保育園 (高崎市)	9月5日	40名
4	パルシステム群馬 東毛センター(太田市)	12月1日	80名

# 2017年度土壌測定の実施体制

- 機器 : ATOMTEX製AT1320A
- 検査場所 : 法人事務所
- 目的 : 子どもたちの暮らす環境の今を知ること
- 実施件数 : 51検体

2017年度は宅地や畑の土壌がほとんどでしたが、2018年度は学校の校庭や公園など、子どもたちの集まる場所の測定をしていきます。



# 2017年度土壌測定結果の一例

No	試料名称	採取地	測定結果		絶対 誤差 (Bq/kg)	検出下限値 (Bq/kg)	2011年4月1日 の推定値 (Bq/kg)
				(Bq/kg)			
11	宅地土壌 (盛土済み)	安中市 松井田町	Cs137	23	±5.2	2.56	30
			Cs134	7.3	±2.23	2.39	80
12	宅地土壌	安中市 松井田町	Cs137	123	±25	2.85	140
			Cs134	18.4	±4.3	2.67	190
13	土壌宅地 (盛土済み)	安中市 松井田町	Cs137	27.5	±5.9	2.37	30
			Cs134	7.49	±2.2	2.21	80
14	宅地土壌 (盛土済み)	安中市 松井田町	Cs137	6.9	±2.2	2.36	10
			Cs134	3.56	±1.64	2.2	40
15	宅地脇馬入 土壌	安中市 松井田町	Cs137	90.4	±18.1	2.59	110
			Cs134	16.5	±3.9	2.42	170
16	枯葉	安中市 松井田町	Cs137	19	±7.6	10.1	20
			Cs134	5.53	±5.91	9.41	60
17	宅地土壌 (盛土下)	安中市 松井田町	Cs137	76.9	±15.4	2.38	90
			Cs134	16.2	±3.7	2.22	170

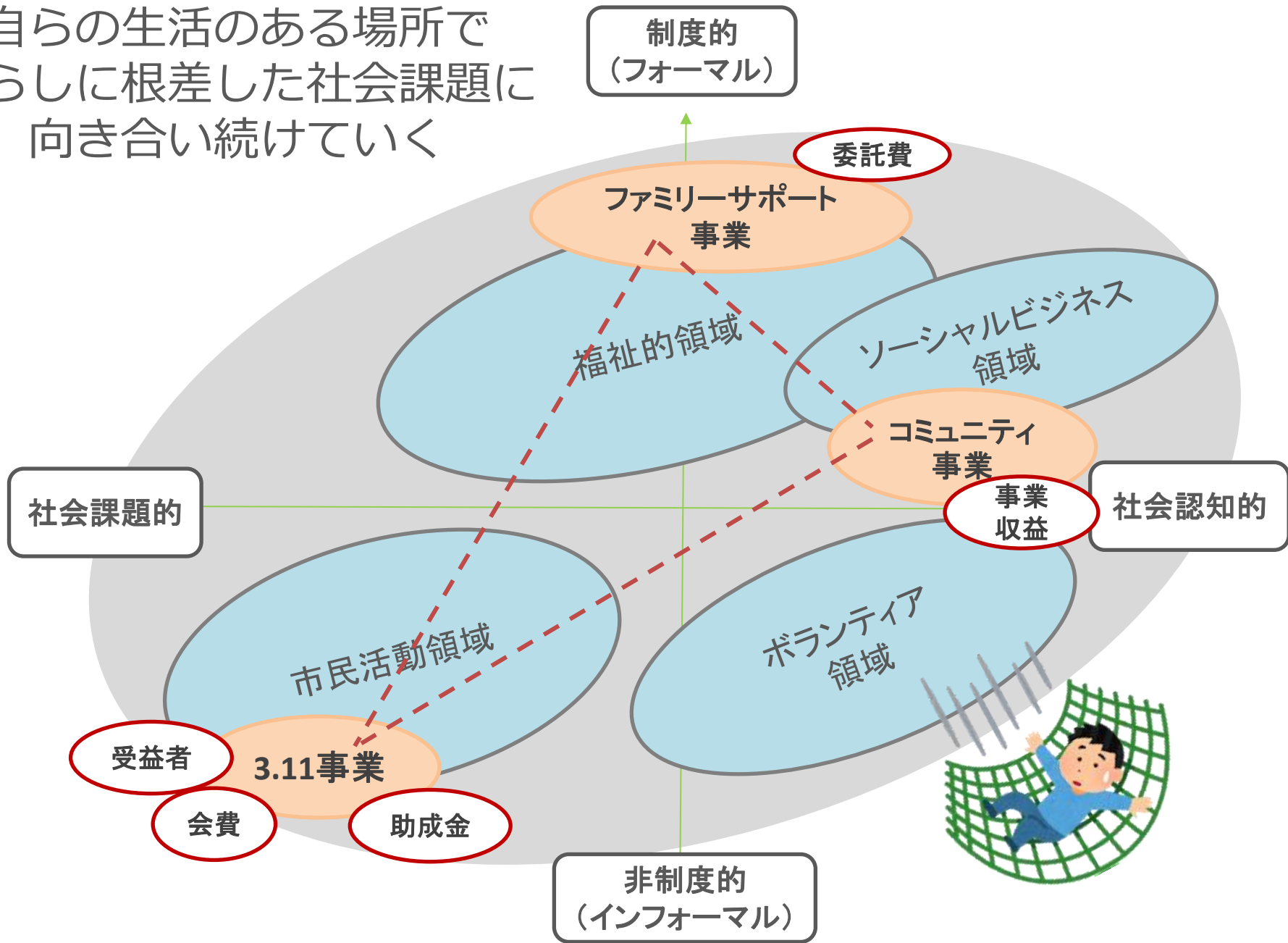
今後も同一の場所を継続的に測定し、その変化に注視していきます。

※測定結果公表に承諾いただいた方にデータを転載していません。

### 3. 今後の活動について



自らの生活のある場所で  
暮らしに根差した社会課題に  
向き合い続けていく



これから  
～とともに考え、行動する～

- 理念を貫く事業運営
- 安定的な資金調達
- 市民活動の周知を図る
- 市民活動団体が互いに協力し合える仕組みづくり



生活圏域における市民活動の活性化が、  
社会課題に向き合う土壌を醸成する

ご支援ありがとうございました。

そしてこれからも、  
よろしく願いいたします。

